

COVID-19ワクチン接種後の 血小板減少症を伴う血栓症

—これだけは知っておきたいワクチン副反応の病態と鑑別のポイント—

新型コロナウイルスに対するアデノウイルスベクターワクチン（アストラゼネカ社等）接種後の副反応として、血小板減少症を伴う血栓症（Thrombosis with Thrombocytopenia Syndrome: TTS）が報告されるようになり、因果関係がある可能性が示唆されている。病態はヘパリン起因性血小板減少症と類似するといわれている。我が国でもTTSの診断と治療の手引きが公開された。TTSは新しい概念でありエビデンスは確立していないが、現状で報告されている内容をまとめる。（講師談）

講師

杏林大学医学部脳卒中医学教室講師

河野 浩之 氏

（かわの ひろゆき 氏）

大分県出身。専門は神経内科学・脳卒中学。2001年熊本大学医学部卒業。卒業後、熊本大学病院、熊本医療センター、済生会熊本病院、熊本市市民病院、荒尾市民病院、国立循環器病研究センターに勤務。2014年から2年間豪州ニューカッスル大学に留学。2016年4月に熊本大学病院脳神経内科特任助に就任。2020年4月から杏林大学医学部脳卒中医学講師に就任し、現在に至る。脳卒中治療ガイドライン2021、ヘパリン起因性血小板減少症の診断・治療ガイドラインやアストラゼネカ社COVID-19ワクチン接種後の血小板減少症を伴う血栓症の診断と治療の手引きなどの作成委員会委員。



日時

2021年7月15日（木）

19:30～21:00

視聴

本講演会は、オンラインビデオ会議ツールZoomウェビナーを使用したライブ配信のWEB講演会です。視聴するには、Zoomに事前登録が必要になります。まずはお申込みフォームから参加申込のお手続きをお願いいたします。申込受付後に別途事前登録のご案内を差し上げます。

対象

医師及び医療スタッフ（事前申込制・参加費無料）

お申込みはこちら



<https://bit.ly/3zmagZr>

QRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力のうえお申込みください。

※QRコードからのお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。

主催：一般社団法人熊本県保険医協会 後援：公益社団法人熊本県医師会

TEL：096-385-3330 Email：kumamoto-hok@doc-net.or.jp



LINE公式アカウント
友だち募集中！